

## 令和7年度 学校運営評価結果 概要

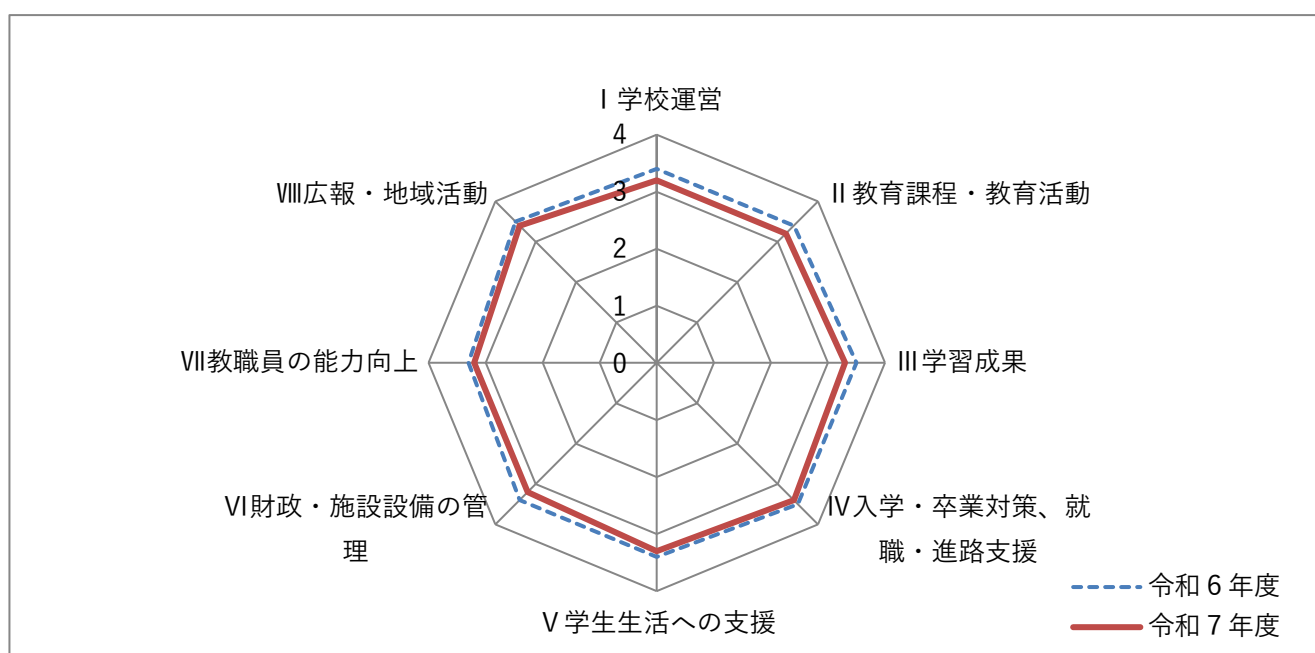
学校の自己改革と教育の質の向上を目指して、毎年学校運営評価を行い、学校運営の改善に努めております。

### 1 評価方法

- (1) 各評価項目について、今年度の取組を振り返りながら評価尺度（4：十分に満たしている、3：満たしている、2：改善の余地がある、1：改善が必要）に基づいて教職員の自己評価を行った。
- (2) 学生に直接関係する項目については、学生にアンケートで意見を聞いた。
- (3) 教職員の自己評価、学生のアンケート結果を学校関係者評価委員に報告し、意見を伺った。
- (4) 意見をもとに最終評定と次年度に向けた取組を明確にした。

### 2 評価結果

区分	主な評価項目	R7 評価	R6 評価
I 学校運営	組織目標の策定、コンプライアンスを重視した学校運営、など	3.2	3.4
II 教育課程・教育活動	体系的なカリキュラム運営、評価の公平性・妥当性、など	3.2	3.4
III 学習成果	学生の単位取得支援、国家試験への取り組み、退学率の低減など	3.3	3.5
IV 入学・卒業対策、就職・進路支援	入学志募者確保、就職・進路支援、卒業生への支援	3.4	3.5
V 学生生活への支援	学業継続支援体制、学生の自主的活動支援、学生の意見反映など	3.3	3.4
VI 財政、施設設備の管理	適正な予算の執行、危機管理体制、安心・安全な施設設備など	3.2	3.4
VII 教職員の能力向上	教員の看護教育力向上、能力向上に対する支援	3.2	3.3
VIII 広報・地域活動	積極的な広報活動、地域社会への貢献	3.4	3.5



### 3 学校関係者評価委員会での主な御意見

#### ○学校運営について

・最終評価が昨年平均より全体的に低下されている点が気になるが、総合的には良好な運営だと思ふ。

#### ○教育課程・教育活動について

・臨床の事例などを取り入れ、学習者の動機付けなる工夫をするとよいと思ふ。

#### ○学習成果について

・学力の低下、学力低迷者への対応は、以前から指摘されている課題であり、実効性のある取組が必要と考える。

#### ○学生生活への支援について

・国家試験対策や学習支援など、学生一人ひとりに寄り添った教育体制が整備されていると感じる。

#### ○財政、施設設備の管理について

・学生からの「IT機器の不具合による授業への支障」の指摘については、具体的な改善策が実施した方がよい。

### 4 次年度に向けた主な取組

#### ○学校運営について

・学生の特徴に応じて、マナーやルールを含めた生活指導を行い、学習習慣形成へのサポートを強化する。

・現状の課題分析に基づいて組織目標を策定し、全教職員で共有し定期的に確認していく。

#### ○教育課程・教育活動について

・シミュレーターモデルや学習用電子カルテ等を活用し、学生が臨床の事例をイメージしやすく、動機づけとなるよう学習内容や方法を工夫する。

#### ○学習成果について

・学生の状況に応じた効果的な学習支援を継続する。

・各科目の学習と合わせて国家試験の学習への効果的な支援に取り組む。

・成績低迷者への支援は複数の教員でかかわるなどチームで支援し、学習方法の習得を目指す。

#### ○入学・卒業対策、就職・進路支援

・入学応募者確保については、高校生、社会人向けの効果的な広報を継続する。

・1年次から就職に関する情報を提供し、早期に支援する。

・卒業生支援については、クラウド型学習支援システムを活用し相談体制の充実を図る。

#### ○学生生活への支援について

・学生が主体的に活動できるよう相談担当と教務が連携して支援する。

#### ○財政、施設設備の管理について

・施設設備については、計画的に修繕を進める。

・効果的な危機管理体制の整備と運営を継続する。

#### ○教職員の能力向上

・教員の教育力向上に向けた自己研鑽の支援を継続する。

#### ○広報・地域活動

・幅広い視点でのPRを継続し、学校祭及び公開講座等様々な方法で地域に発信していく。